

7月の終わり、「東海北陸北方領土を考える中学生の集い」に、本校3年生5名が、三重県の代表として参加するという機会をもらった。場所は石川県金沢市▼参加した5名の子を校長室にお招きして2つのことを聞いた。①参加する前と後でかわったこと②一番楽しかったこと▼深く学べた。よい経験ができた。友だちがたくさんできた。コミュニケーション能力を発揮できた。というのが①の質問の答え。食べ物がおいしかった。グループワークが楽しかった。参加できなかった子のお土産を考えて、お小遣いを出し合って買った。参加できなかった子と引率の先生と7人でワイワイ SNS で会話した。というのが②の答え▼子どもたちの話を聞いて、行ってくれてよかったと思った。2日間、仲間と貴重な体験をした。この事実だけでよい。その貴重な体験を生き活きと語ってくれたことが何よりもうれしい▼子どもに大切なのは、三つの間。時間・空間・仲間。古い言葉に同じ釜の飯を食った仲という言葉がある。同じ集団に属して目的を共有する経験が子どもたちには必要で大切なんだということを、目の前に座る3年生5人からあらためて教わった。参加できなかった子のことを思いやる気持ちもうれしかった▼校長室を出る時に、ある子が、引率して下さった先生に「先生は、質問に答えなくていいんですか？」と聞いていたのは、おもしろかった。